

# 水道事業会計の 決算状況をお知らせします

▶お問い合わせ 水道グループ  
(☎055501)

日常生活において、欠かすことのできない水を家庭などへ届ける『水道』は、生活を支えるライフラインの一つです。

市は、安全で良質な水道水を安定的に供給するため、市民の皆さんからいただく水道料金を主な財源として、水道施設の整備や維持管理などを行っています。

このたび、平成29年度の収入や支出がまとまり、今後、市議会で審査を受けることとなります。

今号では、水道事業会計の平成29年度決算状況について、お知らせします。

## 収入と支出の概要

### ○収益的収支

収益的収支とは、水道水をつくり、家庭などにお届けするための費用などの収支を表したものです。

平成29年度の収入合計は、予算の8億9千457万円に対し、決算は8億9千732万円増となりました。

支出合計は、予算の8億9千375万円に対し、決算は8億3千377万円減となり、この結果、収支決算は、6千355万円の黒字となりました。

黒字額については、国などからの借入金今後の元金償還に備えるための減債積立金に3千180万円、配水管の更新などの施設整備に備えるための建設改良積立金に3千175万円を積み立てる予定です。

### ○資本的収支

資本的収支とは、浄水場や配水池、配水管などの整備などを行うための収支を表したものです。

平成29年度の収入合計は、予算の4億6千640万円に対し、決算は4億934万円増となりました。

また、支出合計は、予算の9億5千626万円に対し、決算は8億1千530万円減となり、

## 収益的収支

項目	金額
収益的収入	8億9,732万円
営業収益	8億6,262万円
(うち、給水収益)	8億2,386万円
営業外収益	3,470万円
特別利益	0万円
収益的支出	8億3,377万円
営業費用	7億5,152万円
営業外費用	8,223万円
特別損失	2万円
純利益	6,355万円

## 資本的収支

項目	金額
資本的収入	4億 934万円
企業債	3億9,740万円
負担金	1,141万円
他会計補助金	53万円
資本的支出	8億1,530万円
建設改良費	5億4,044万円
企業債償還金	2億7,486万円
不足額	4億 596万円

した。

この結果、収支決算は、4億596万円の不足となりました。不足額については、収益的収支の営業費用に含まれる減価償却費や資産減耗費などの内部留保資金(損益勘定留保資金)などで補てんしました。

## 水道事業会計の概要

水道事業は、地方公営企業法に基づき、地方自治体が経営する企業として運営しています。

事業の運営に当たっては、市民の皆さんの生活に必要な水を安定的に供給するという本来の目的に加え、常に効率的な事業運営を図り、企業の経済性を発揮することが求められています。会計制度は、企業の経営成績、財政状態を明らかにするため、企業会計方式を採用しており、事業に必要な経費は、経営に伴う収入(水道料金収入)をもって充てるという独立採算制を原則に経営を行っています。

## 給水の状況

	平成30年3月31日時点	平成29年3月31日時点
給水人口	47,870人	48,429人
給水戸数	22,067戸	22,177戸
年間給水量	3,182,762m <sup>3</sup>	3,210,362m <sup>3</sup>
一日一人当たり平均給水量	182ℓ	182ℓ
平均配水量(一日当たり)	12,038m <sup>3</sup>	12,326m <sup>3</sup>

現在はもちろん、将来にわたって市民の皆さんに水道水を供給していくため、運営基盤の強化を図り、安全・安心な給水体制を確保する必要があります。